

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

田辺工業団体で6連覇

体操男子 高校総体県予選

全国高校総体(インターハイ)出場を懸けた体操男子の県予選が5月29〜31日、和歌山市の県立体育館であり、田辺工業が6年連続16回目の団体優勝を決めた。個人総合では同校の選手が1〜3位を独占。種目別でも強さを見せた。



インターハイ出場を決めた田辺工業のメンバー

田辺工業を含め5校が参加した。団体は各校の4人が、ゆか▽あん馬▽つり輪▽跳馬▽平行棒▽鉄棒の6種目を演技。技の難しさと美しさを競った。各校の上位3人の得点を合計し、順位を決めた。

田辺工業の団体得点は240・900。準優勝の和歌山北(213・250)や3位の和歌山工業(152・350)を大きく引き離れた。

個人総合では、ゆかと平行棒で優勝、つり輪と鉄棒で2位に入った2年の筒井宏樹君が優勝した。僅差の準優勝は3年の長坂朋弥君、3位は3年の佐々木侖緒君だった。

種目別では、6種目中5種目で田辺工業の選手が優勝。跳馬の1位と3位以外は同校の選手が3位以内を占めた。

インターハイは8月1〜3日に大阪市である。田辺工業は団体戦のほか、個人戦に2年の山本開君と団体メンバー

が出場する。

団体メンバーの一人でもある筒井君は「失敗もあったが、最後まで諦めずに臨んだことが今回の結果につながった。インターハイでは緊張する場面もあると思うので、練習から試合を意識して精神面も鍛えていきたい」と話した。

団体の上位3校は、県代表として近畿大会へ出場する。近畿大会は6月13、14日に大津市で開かれる。

県予選で優勝した団体メンバーは次の皆さん。

3年〓長坂朋弥、佐々木侖緒▽2年〓筒井宏樹、横山秀也▽1年〓高田佑貴、木本大晴